

## 北海道オフィス開設について

2015年8月6日

本年2015年（平成27年）は、日本の「地方創生元年」と位置付けられています。昨年末には日本全体の人口の将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」とそれを踏まえた今後5年間の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、さらに、この6月末には「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」が閣議決定されました。これらを踏まえ、各地方では今年度を初年度とする「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定し、具体的な事業を推進することとなっています。

このような日本全体の取り組み中で、地方創生をめぐる現状について次のような課題が挙げられています。

- 人口減少
- 東京一極集中の傾向
- 力強さに欠ける地域経済

地域の抱える課題に対し、私たちセラフは「IT技術を含め、何らかのソリューションを提供したい」と考え、北海道に拠点を開設し、次のような取り組みを行うことといたしました。

1. セラフおよびセラフに関係する企業等の技術・ノウハウ・人的ネットワーク等のリソースを活かした事業を行い、北海道の経済・産業の発展に貢献する
2. 北海道での業務推進を通じ、直接的または間接的に北海道の人材育成に貢献する（「東京でも通じる人材」、「世界で活躍できる人材」の育成）
3. 日本国内だけではなく、アジアをはじめとする世界に向けてグローバルに「北海道発のビジネス」を展開する

このため、北海道の自治体・公共団体、大学をはじめとする教育・研究機関および道内企業等との連携・協働を推進し、「より速くより効果的」にその成果を地域へ還元したいと考えています。

この20年近くセラフとして培ってきた仕事に対する考え方・仕事の進め方につきましては、そのまま北海道の拠点でも踏襲していきたいと思っております。

- 常にお客様に対する品質（Q）・コスト（C）・納期（D）の向上に努める
- スピード感を持って業務を推進する
- 目標を意識し、実行計画に沿って業務を推進する（PDCA（計画・実行・評価・改善）を回す）
- たゆまず業務の工夫と改善を重ねる。業務の「見える化」を進める
- 「個別最適」ではなく、「全体最適」を目指す。社外／社内の関係者と連携する

なお、北海道は弊社社長土屋努が 30 数年前の学生時代を過ごした北の大地であり、セラフとして「地方への貢献」を考える際に、真っ先に心に浮かんだ思い出の地でもあります。

以上